

## Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

## About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『良民』解説・総目次

不二出版

## Ⅱ 總目次

## 『良民』総目次・凡例

- 一、原則として仮名遣いは原文のままとし、旧漢字、異体字はそれぞれ新漢字、正字に改めた。  
また、明らかな誤植、脱字以外は原文のままとし、人名その他もあえて統一をはからなかった。
- 一、標題は原則として本文に従った。副題及び小題は——（ダッシュ）の後に示した。
- 一、括弧内の表記は、目次及び本文の標題にのっとり付したが、\*印は編集部が補足したものである。
- 一、総目次はできるだけ詳細に記載するよう努めたが、目次、奥付、広告、及び投稿欄の一部については触れなかった。また、カットについては署名あるいはタイトルのあるもののみ採用した。
- 一、原則としてルビは付さなかった。
- 一、隠しノンブルには( )を付した。

(編集部)

第一卷第一号 一九二一(明治四四)年二月二一日

農業

牛／田舎の夕ぐれ(下村英)

16  
17

(\*画)

中付  
1

青年団

青年会の身体検査／自転車と荷車／定刻前に

二千五百四十七名／余興の浪花節赤垣源蔵

18  
19

日記と手紙

青年会日記／青年日記／鳥取県より／高知県

より

20  
21

世の中

余興

親は正月をせぬ／一つが喰へぬ／考もの

22

要約

執筆  
者

24

第一卷第二号 一九二一(明治四四)年三月一五日

(\*画・晴耕雨読)

(\*竹久夢二)

表紙

(\*創刊の辞)

良  
民  
社

前付  
1

(\*口絵)

前付  
2

実行(\*巻頭言)

1

修身

良民となれ(石黒況斎)／粟の心止まりと青

年

2  
3

齊家

日本の家と西洋の家／金貸と墓屋敷

4  
5

自治

良村を作れ(\*井上友二)／神奈川県の神田

／義民村と義民社

6  
7

国家

日本帝国の地位／日本の財布

8  
9

世界

一千九百十五年／巴奈馬の運河

10  
11

講談 大石の堪忍袋

赤心亭伊呂波

12  
15

修身

地方青年の足場(\*沢柳政太郎)／梅と母

2  
3

実行

1

(\*画・晴耕雨読)

(\*竹久夢二)

表紙

齊家

細長い草鞋／家名相統

第一巻第三号 一九二一(明治四四)年四月一五日

自治

国の足／広島県の大崎南村／埼玉県の秋平村

4  
5

(\*画・晴耕雨読)

(\*竹久夢二)

表紙

国家

皇室の御悠久／一等国の重み

6  
7

清夜(\*画)

匪躬生

口絵裏

世界 朝鮮と南洋

8  
9

(\*小文)

実行

1

講談 弁慶安宅の関

10  
11

修身

立身出世の道(\*小松原英太郎)／梅と友人

2  
3

農業

農地(『農民読本』摘要)／農業の歌(和田垣)

12  
15

齊家

家の格式／老寄の手柄話

4  
5

謙三

青年団

役員八百名／内務省選奨の大野青年会

16  
17

自治 笑ふ門には福来る／書記の居らぬ役場

6  
7

日記と手紙

村日記／奈良県より

18  
19

国家 天子に姓氏なし／我が国のお台所

8  
9

世の中

地方のお方へ／中央のお方へ(壺聖)

20  
21

世界 英吉利と露西亜

講談 安宅の弁慶(前号のツ、キ)

10  
11

余興

六七十にもなつて／三笠とみかさ／考もの

22

農業 父は富むも子は貧乏

12  
15

要約

執筆者

23

さみだれ(\*画)／鳩翁道話

16  
17

白虎隊の詩

中付1・中付2

17

青年団

明治四十四年中の事業／校長の頌徳碑／五十年の祝典紀念／手料理の養老会／千葉県源村

青年会（丸山生）

日記と手紙

青年巡回日記／香川県綾歌郡のお方へ／愛知

県海西郡のお方より

世の中

東京三月末便り／田舎通信（白馬生）

余興

兄は兄だけのことを言ふワイ／火鉢で焼いて

飲んだ／考物解答

要約

執筆 者

青年団

（\*挿画） 裾野

ゆ

第一巻第四号 一九二一（明治四四）年五月一五日

（\*画・晴耕雨読）

（\*竹久夢二）

（\*画）

口絵

世の中 事業報告を御覧下され（東京便り）

22

実行

修身

無駄骨を折れ／新聞包の草鞋

齊家

ヤレソレ家事じや／一千円の金

自治 ヨダレカケと村日記

国家

皇室の御仁慈／二十五ヶ国／信濃川の讓位

世界 米国人に中つた

講談 風流義士

農業

麦の黒穂／五月（志賀）／寢息と寢言（雨読

生）

青年団

歳入一千二百二十八銭／何こそ進上の品も

なし／実費一元五十銭（前東生）

日記と手紙

青年日記（蚯蚓生）／京都市より／山口県吉

敷郡のお方より／岐阜県可児郡のお方より

世の中 事業報告を御覧下され（東京便り）

22

余興

カナイハマイニチミマイニクル／大馬鹿とい

ふ／考物答案

要約

第一巻第五号 一九二一(明治四四)年六月一五日

(\*画・晴耕雨読)

(\*画)

実行

修身

実行は低く早い所から(\*石黒忠憲)／面倒  
を見るといふこと(関弘道)／荷車と自転車  
と甕車

齐家

神棚と仏壇／エライ親

自治

薬代の共同支払／国勢調査の手伝

国家

君父と臣子／我国の出入帳

世界 モロツコ

講談 風流義士

農業 灰と人糞尿

(\*画)

青年団

縁の切れぬ仕事／青年団旅行の歌(小野和教)

日記と手紙

村日記／青森県北津軽郡のお方へ／岐阜県可

児郡のお方へ

世の中 東京たより

余興

新作盆踊の歌(孝子阿新丸)／考へもの

要約

第一巻第六号 一九二一(明治四四)年七月一五日

(\*画・晴耕雨読)

ま昼(\*画)

実行

修身 元氣は足にある

赤心亭

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

6

7

8

9

10

11

齊家 信ずる力

自治

農家と商家／何事も村長へ

国家 二千六百年の大樹

世界 万国平和会議

講談 風流義士

農業

螟虫と浮塵子／田草取り

青年団

三重県模範青年団／教科書とカルタ／農具陳

列場／農商務大臣の祝電

日記と手紙

青年会日記／乗車日記（雨読生）／徴兵検査

便り

余興

新作盆踊の歌（孝子阿新丸）／八畝と瘦

要約

（\*挿画） あゝ母校

4  
5

第一卷第七号 一九二一（明治四四）年八月一五日

6  
7

8  
9

10  
11

12  
15

16  
17

12  
15

10  
11

8  
9

6  
7

18  
19

20  
21

22  
23

24

24

24

24

（\*画・晴耕雨読）

（\*画）

実行

修身 我れ独り尊し

齊家 元氣と病氣

自治

ドレ程棄てゝある（\*井上友一）／農村の人

材養成

国家 働かねばならぬ時機

世界 同盟条約と仲裁々判条約

講談 風流義士

農業 下肥の利目

青年団

講話会と運動会／青年会の奨善会／滋賀県の

優良青年団（木村生）

日記と手紙  
青年日記（井見生）／青年会員の年齢

（\*竹久夢二）

表紙

口絵

1

2  
3

4  
5

6  
7

8  
9

10  
11

12  
13

14  
15

16  
19

16  
19

16  
19

20  
21

世の中

地方便り (晴耕生) / 東京便り

余興 新作盆踊口説 (四十七士)

要約

(\*挿画) 牧場 / 高原より富士をのぞむ

第一巻第八号 一九二一(明治四四)年九月一五日

英国の少年団体 / 青年会の里親

日記と手紙

一日一善日記 (蚯蚓生) / 盆踊に就て

世の中 東京便り

余興 新作盆踊口説 (四十七士)

要約

第一巻第九号 一九二一(明治四四)年一〇月一五日

(\*画・晴耕雨読)

晩帰 (\*画)

実行

修身 昨日よりは今日

齐家 何はなくても親二人

自治 可愛い子と自治

国家 一番住み好い国

世界 日本の相手

講談 里村紹巴

農業 下肥の見分 (森村弘毅氏講話大意)

青年団

(\*竹久夢二)

口絵

表紙

2 3

4 5

6 7

8 9

10 11

12 15

16 17

(\*画・晴耕雨読)

黄昏 (\*画)

実行

修身 智慧と元気

齐家 行末の為め

自治 部落の改良

国家 鬼の目にも涙

世界 世界の土俵場

思ひ出すまゝ

農業 下肥の使用法

青年会

(\*竹久夢二)

口絵

表紙

2 3

4 5

6 7

8 9

10 11

12 15

16 17

青年会と学校／英国の少年団体

18  
～  
19

日記と手紙

反省日記（修養生）／運動競技の種類

20  
～  
21

世の中 田舎の秋

不息生

22

余興 盆踊口説（孝子吉兵衛）

23

要約

24

第一巻第一〇号 一九二一（明治四四）年一月二五日

露国の少年団体／青年心得

18  
～  
19

日記と手紙

村落日記（四国生）／室内と戸外

20  
～  
21

世の中 田舎便り

22

余興 盆踊口説（孝子吉兵衛）

23

要約

24

第一巻第一一号 一九二一（明治四四）年一月二五日

（\*画・晴耕雨読）

（\*竹久夢二）

表紙

（\*画）

口絵

実行

1

修身 根気比べ

2  
～  
3

齐家 父母状と教育勅語

4  
～  
5

自治 亥の子と少年団

6  
～  
7

国家 名を尚ぶ国

7  
～  
9

世界 伊土戦争

9  
～  
11

講演 名残りの武田

いろは

12  
～  
15

農業 農家の目醒（阿呆陀羅經）

川 浦

16  
～  
17

青年会

（\*画・晴耕雨読）

（\*竹久夢二）

表紙

平和（\*画）

夢 二

口絵

『良民』の志に就て

良 民 生 前付1～前付4

実行

1

修身 年末の用意

2  
～  
3

齐家 泥坊を防ぐ法

4  
～  
5

自治 町村の節酒制度

6  
～  
7

国家 瓢箪と剣

8  
～  
9

世界 継子の継母いじめ

10  
～  
11

講演 名残りの武田

いろは

12  
～  
16

農業 農家の目醒（阿呆陀羅經）

川 浦

16  
～  
17

青年会

青年会と「亥の子」(久保生) / 少年会の「朝

起会」(久保氏へ御返事)

18 / 19

日記と手紙

善行日記(船武生) / 雨読日記(晴耕生)

20 / 21

世の中 東京より

22

余興 笑謡「娑婆弥次郎」

23

要約

執筆 者

24

(\*挿画)

(\*竹久夢二)

11 / 24

第二巻第一号 一九二二(明治四五)年一月一八日

(\*画・晴耕雨読)

(\*竹久夢二)

表紙

(\*画)

U 口絵

謹賀新年

修身 一と目に入れる事

2 / 3

齐家 家内和睦の効用

4 / 5

自治 酒代と村税

6 / 7

国家 親の無い国民

8 / 9

世界 暹羅

講談 大神甚次郎の実伝

黒 牡丹

12 / 15

農業 下肥の貯蔵

16 / 17

青年会

米国の少年倶楽部 / 青年会歌

18 / 19

日記と手紙

福岡県京都郡より(灘川生) / 夜学会日記

20 / 21

(遠山生) / 春の始の御悦(石火子)

余興

笑謡「娑婆弥次郎」 / 智どのゝ立腹 / 罪の無

22 / 23

子供

要約

24

(\*挿画)

(\*竹久夢二)

17 / 24

第二巻第二号 一九二二(明治四五)年二月一五日

(\*画)

Y U M E Z I

表紙

(\*画)

(\*竹久夢二)

口絵

実行

1

修身齐家

常盤と海士／青年心得百話

町村国家

消防の尊重／戸外の連中

実業補習

下肥の施し方／世界は目前にあり(志賀重昂)

猿曳与次郎孝行の段(浄瑠璃)

青年団体

青年会と花柳病／青年会見聞日記(蚯蚓生)

実言実語

踏む所の地を与ふ(春風)／湯気の立てる蒸

芋(新野)／三重県の優良青年会(野崎)／

威張るものと威張られるもの(TO)／先づ

一般の頭を作ること(長尾)／平かなの道標

(半田)

新聞旧聞 東京より

娯楽

詩カルタ／腹は脹れども

要約

(\*挿画) 京へゆく道／春草／春月

(\*竹久夢二) 9・17・24

第二巻第三号 一九一二(明治四五)年三月一五日

(\*画)

Y U M E Z I

表紙

旧師(\*画)

(\*竹久夢二)

口絵

実行

1

修身齐家

奢は是れ我が敵／青年心得百話

自治国家

寄附団と廃物拾集／青年御時代の陛下

実業補習

消毒された下肥／本邦農業概要

青年団体

青年会員の五分刈頭／見聞日記(蚯蚓生)

実言実語

余り上を見過ぎ居る／御取替出来ずや／千人

中約二人減少(山田)

新聞旧聞 支那の暦と万国聯合の徒歩競争

2 5

6 9

10 13

14 17

18 19

20 21

22 23

24

22 23

20 21

18 19

20 21

18 19

20 21

18 19

20 21

18 19

20 21

20 21

20 21

娯楽 ふくびき

22  
23

要約

良 民 生

24

(\*挿画) 朝

17

第二巻第四号 一九二二(明治四五)年四月一五日

(\*画)

Y U M E Z I

表紙

(\*画)

口絵

実行

1

修身斉家

それも浮世にある習ひ／青年心得百話

2  
3  
5

町村国家

公共心と仏心／所謂寄附団に就て

6  
7  
9

実業補習

トロール漁船／本邦農業概要

10  
11  
13

青年団体

青年倶楽部と風呂場／青年会の揭示場／見聞

雑録／静岡県芳川村青年会歌

14  
15  
17

実言実語

繩綯と登山(吐田生)／理想の田舎青年(皆

木)／骨身を惜むな(佐伯)／一厘も取らず

(佐藤)／千八百円(河田)／下層に沈埋せ

る真骨頂

18  
19

新聞旧聞 中央たより

娯楽 橘大隊長(薩摩琵琶歌)

20  
21

要約

良 民 生

22  
24

第二巻第五号 一九二二(明治四五)年五月一五日

(\*画)

Y U M E Z I

表紙

(\*画)

口絵

実行

1

修身斉家

元氣と口／青年心得百話

2  
3  
5

町村国家

町村の仲裁裁判所／表彰の羽織／村の日記／

日掛箱／早起の法螺貝

6  
7  
9

実業補習

バクテリア(『壮丁読本』)／本邦農業概要／

農業の歌 (坪内雄蔵)

10  
〜  
13

青年団体

青年会と一畝歩農場 / 青年会指導の注文

14  
〜  
17

実言実語

此の涙 (村二) / 老父の鼾声 (鴨田) / 一日

一善必行団 (加納生)

18  
〜  
19

新聞旧聞

中央たより / 地方たより (晴耕生)

20  
〜  
21

娯楽

相撲四十八手 / ふくびき (長島)

22  
〜  
23

要約

24

(\*挿画)

ちんぢゆの森

24

第二巻第六号

一九一二(明治四五)年六月一五日

(\*画)

Y U M E Z I

表紙

木蔭 (\*画)

口絵

実行

1

修身齊家

模範日 / 青年心得百話

2  
〜  
5

町村国家 町村行事と青年の娯楽 天野 藤男

6  
〜  
9

実業補習

昆虫界の大相撲 (松本恒吉) / 田舎の生活

10  
〜  
13

青年団体

余興にあらず / 青年団体の登山 (新野)

14  
〜  
17

実言実語

一肴を供せられ度 (西伯生) / ロクな人には

なれず (多々良生) / 一日一善 / 中学校長会

の帰り

18  
〜  
19

新聞旧聞 一月一信

20  
〜  
21

娯楽

地理の考物 / 一日の清遊

22  
〜  
23

要約

24

(\*挿画)

あぜ道

24

第二巻第七号

一九一二(明治四五)年七月一五日

(\*画)

Y U M E Z I

表紙



青年団体

老樹保護と青年会／入宮記念樹栽／米国少年

の蠅取戦争／青年会歌／あれこれ

実言実語

巡回日記／修養回記（仙田）

新聞旧聞

広島県より（小島齋齋）／東京より／田舎便

り（△○生）

青年総会の考物（\*娯楽）

要約

良 民生

（\*挿画） 早じまいの日／朝日のさす間

第二巻第九号 一九二二（大正元）年九月二〇日

（\*写真）

実行

実業補習

先帝御聖徳の一斑（\*石黒忠憲）／墓前に物

言ふの至情

修身斉家 如何にか奮励する

町村国家 御盛徳記念事業

実業補習

明治年表一斑／菟薺玉の栽培

青年団体

熱田神宮御田植祭／庵原村青年会（天野）／

独逸の青年団体

実言実語

一日一善の実行（愛読者）／乗車制限と六尺

禪（内藤）／初めて団員の総出（永江）／喪

章と衣

雑録 農作阿呆陀羅經（稻作小言） 船津伝次平

（\*小文）

良 民生

要約

（\*挿画） 町へ

1

第二巻第一〇号 一九二二（大正元）年一〇月二二日

乃木大将夫妻自刃十時間前の写真

2 7

8 9

10 11

14 17

12 15

18 19

21

16 19

20 21

22 23

24

20 21

22 23

23

24

24

口絵

口絵

口絵

口絵

実行

1

良民

和衷協同／乃木大将と石黒男（\*石黒忠恵）

／乃木大将と少年兵团

修身齐家 五分刈頭

2  
3  
9

町村国家 芝居興行と申合

10  
11

実業補習

農業補習学校教授要項／参拝団手引草

12  
13

青年団体

御盛徳記念田設置（一会員）／朝鮮の青年団

14  
17

体／桃山御陵参拝に続いて（荒木）

18  
19  
20

（\*小文）

良民生

21

雑録 田舎と都会

天野 藤男

22  
23

要約

雑録 高帽の原料は何

24

（\*插画） 秋風／紅い実

21  
24

実行

1

良民

御昔を偲び奉る／御即位式と全国青年団／乃

木大将の遺訓／新兵諸君と守本尊

修身齐家

2  
3  
5

丁字形／下に向け（後藤）

6  
9

町村国家

新兵入営に就て／田圃の中にて（石城有火生）

10  
13

／巴爾幹半島とは

実業補習 農業補習学校教授要項

14  
17

青年団体

体育と青年会／広島県便り／茨城県より／京

18  
22

都府便り／山口県便り

18  
22

雑録 高帽の原料は何

23

要約

24

（\*插画） つるし大根／紅い実

8  
24

第二巻第一号 一九二二（大正元）年一月五日

収獲（\*画）

口絵

第二巻第一二号 一九二二(大正元)年二月一日

雑録 弓の話 22  
 地方便り(山陽道より) 23  
 要約 24

朝の光(\*画) 口絵

実行 1

良民 御即位式と青年会 2  
 3

修身齐家

日記のつけ方/要領を得よ(卜部喜太郎)/

努力の努の字(三宅雪嶺) 3  
 7

町村国家 空地調べ 8  
 9

一日一善必行団成る 9

一蛾養蚕 10  
 11

実業補習 12  
 15

農業補習学校教授要項/統計のいろく

青年団体

青年会の大根献上/全国青年団体調査表/野

荒の制裁/島根県便り/香川県だより(久保) 16  
 19

実言実語

兎の糞と頭の髪(良民生)/元朝登山/左の

肩に豆絞の手拭 20  
 21

(\*挿画) 落日 24

第三巻第一号 一九二二(大正二)年一月一日

牧場の春(\*画) 口絵

年の始めに 良民生 1

実行 2

修身齐家 ヤレとソリヤ 3  
 4

(\*小文) 石火生/常光浩然 5  
 9

町村国家

縦と横/阿波の茅講(岬吉之丞) 6  
 9

実業補習

牛/一坪農業 10  
 13

青年団体

木綿の紋付羽織/正月の兎追/青年海兵隊組

織/乞食のような事はせぬ/青年会日記(林

又五郎

14  
18

実言実語

生あるを幸として(丸) / 気づかはれ候(松

山) / 終りの方は乱筆(田中) / 洗面後直に

(石橋) / 『良民』読者に申上候(皆木)

一日一善必行団

山口県(豊年生) / 香川県(久保清太郎)

雑録 第一回大食会

要約

(\*挿画)

たこたこあがれ / 霜

第三卷第二号 一九一三(大正二)年二月一五日

内と外(\*画)

実行

修身齊家

根を下すこと / 日夜繁勤と御引廻し(松本恒

吉)

町村国家

町村の国葬墓地 / 世界共通の大問題(中川)

実業補習 檜崎式椎茸養成の歌

青年団体

青年博覧会(良民生) / 一ヶ年一円 / 全員五

分刈(伊藤伊助) / 記念共同作業(下林)

実言実語

疵頭の五分刈(愛読生) / 思ひ切つて(読者)

/ 何んとなく恥ぢ(田中) / 御礼迄に(井原)

/ 七寸の鞋(柴山)

一日一善必行団

福島県(真三三) / 長野県(信州の人) / 福

島県(真三三) / 広島県(来山生)

雑録

大正茶話 / 新案特許(絶軒)

要約

(\*挿画)

たちばなし / かれ草

2  
5

1 口絵

9  
24

20  
23

18  
19

16  
17

13  
15

10  
12

6  
9

第三卷第三号 一九一三(大正二)年三月一日

春のまひる(\*画)

口絵

実行

1

修身齐家

男前を作るに就て／着手百ヶ所(良民生)

2 5

町村国家

セン拳のセンの字／まだく不十分(服部)

6 9

実業補習

農業二十一要項／大豆と豆腐と湯葉

10 13

青年団体

青年会の歛始／団結と巡回日記／立稲二株と

玄米二俵(一会員)／麦隴対座(良民生)

14 17

実言実語

将校の眼と町村長校長の眼(愛読者)／改元

記念の早起／賭博に勝った浪花節(一読者)

／巡回日記

18 19

一日一善必行団

広島県(升川生)／福岡県(百富倉次)／愛

知県(神谷信次郎)／群馬県(新井包雄)  
 雑録 第二回大食会 20 21  
 要約 22 23  
 24

第三卷第四号 一九一三(大正二)年四月一日

のぢのさくら(\*画)

口絵

実行

1

修身齐家

宮皆赤旗なり／食事のあと(後藤)／着手十

一ヶ所

2 5

町村国家

統計調査と青年団／岡山県久米郡倭文中村／

質素申合

6 9

実業補習

農業二十四要項／蕓薹及萊菔(素岳)

10 13

青年団体

大正の伊勢参宮／年中行事／突然の知事入来

／家族同伴

14 17

実言実語 巡回日記

18 19

一日一善必行団

処女会の一日一善巡回日記／青年会の一日一

善巡回日記

20  
21

雑報 農村文学

天野 藤男

22  
23

地方便り

蚯蚓 生

23

要約

24

蛙(素岳)／農業二十七要項

10  
13

青年団体

青年会と一年兵役(桜井生)／青年会通信簿

／根本既に腐敗せり／足下用心(林本生)／

まだく(広瀬生)

14  
17

実言実語

腹の中の掃除(山下生)／反動的に忘却(次

山生)／ソナナラ止めてくれ(芝笏)／我れ

も又一度は(石井生)

18  
19

一日一善必行団

一村四十名の一日一善会員／一善集

20  
21

(\*挿画) はるの日／田舎の春

17  
24

第三巻第五号 一九一三(大正二)年五月一五日

ひばり(\*画)

口絵

実行

1

修身斉家

お互の紀元節／着手十九ヶ所

2  
5

町村国家

民政とは(\*山崎延吉)／我が村の名物(溝

口常念)

6  
9

地方便り

蚯蚓 生

9

実業補習

(\*挿画)

踏切／夏大根

5  
11

要約

(\*小文)

良 民生

23

(\*俳句)

松浦宗善の勸農詞／(\*早口言葉・皆木)／

22  
23

雑報

一村四十名の一日一善会員／一善集

20  
21

第三卷第六号 一九一三(大正二)年六月一日

戦友達(\*画)

実行

修身齐家

裏と表/諸君と語る(良民生)

町村国家

足のある学校/樽床防霜事業(岩本)/明治

天皇祭と青年会

実業補習

農業二十七要項/蝶及蟻(素堂)

『大阪毎日新聞』と『一日一善』(社説の一節)

青年団体

二十男児がコンナさま/我れに一円を与ふれ

ば/堆肥舎講と書籍講/山川博士と兵事教育

/新に着手せんとする(林久五郎)/入退営

と虚礼廃止/会長のナポレオン式(富倉)

実言実語

大抵涙は出で申候(加東)/桐台の下駄を穿

かぬこと(皆木)

一日一善必行団

一善日記/七百三十一件(岡田豊蔵)/一善

帳

雑報 稼ぐ思ひしては使はれぬ

地方便り

要約

(\*插画)

畑/ひる寝のひま/せんたく

第三卷第七号

一九一三(大正二)年七月一日

東京名所その一 上野動物園(\*画)

実行

(\*小文)

修身齐家

膝づめ談判/通俗儉約心得草

町村国家

排日問題のアレコレ/米収三石期成会

実業補習

実業補習

18

19

20

21

22

23

24

9

17

24

口絵

1

2

2

5

6

9

14

17

口絵

1

2

5

6

9

10

13

13

14

17

農業二十七要項／火薬（素堂）

10  
～  
13

青年団体

修身齊家

2  
～  
5

日記と月給／同年会／カナリよい考へ／もの

一村国家

6  
～  
9

は付け（新野）／勤労主義の広戸青年会

会堂と一銭貯金／根本の問題

14  
～  
17

実言実語

実業補習

10  
～  
13

誰れが何んといつても（升川）／こゝが修養

農業三十要項／建築木材（素岳）

18  
～  
19

（丸）／書籍を枕にせぬこと（来山序助）／

青年団体

20  
～  
21

（\*升川君へ・良民生）

青年会と予算／実業補習学校と青年会／裸体の高等小学卒業生（愛読生）

22  
～  
23

一日一善必行団

実言実語

23  
～  
24

敬意を表したし／一善日記（熊毛）

孝は子に衰ふ／昼耕夜読（村上長松）

24  
～  
25

雑報 田植日記

前東 天涙

22  
～  
23

地方便り

蚯蚓 生

23

要約

一日一善必行団

24  
～  
25

農事上の一日一善（江木天真）／英国人の「一日一善会」／一日一善日記（一読者）

（\*挿画） 開墾／汐くみ

9  
～  
24

雑録 うた

22  
～  
23

要約

24

第三巻第八号 一九一三（大正二）年八月一五日

（\*挿画） 草ずまふ／川あそび／夏草

9  
～  
17  
～  
24

東京めぐり 招魂社の噴き上げ（\*画）

口絵

実行

1

第三卷第九号 一九一三(大正二)年九月十五日

地方便り 蚯蚓生 23  
 要約 24

東京函会 お茶の水(\*画) 口絵

実行 1

(\*挿画) たうもろこしの畑/はつ秋/蛸なき

て秋の来ぬ 13・17・24

修身齐家

次は筒袖/貯金者の姓名は家号(田中梅治)

/長寿と貯金/諸君と語る 2/5

第三卷第一〇号 一九一三(大正二)年一〇月十五日

町村国家

上下の阻隔七百七十八尺(\*山崎延吉)/宅

地利用品評会 6/9

東京めぐり 靖国神社境内(\*画)

実行 1 口絵

実業補習

農業三十一要項/池水の蒸発防止 10/13

青年団体 関西教育博覧会便り 良民生 14/17

マサカの折の嘘/縞の財布(皆木豊)/諸君

と語る(良民生) 2/5

実言実語

昼寝に賛成(岩本奥市)/昼寝に反対(村上

博)/無駄な仕事(丸弘毅) 18/19

民政の興隆(山崎)/廃物集拾鐘(下馬)/

布哇と日本人(志賀重昂) 6/9

一日一善必行団

一日一善は最小限/一善日記

22/23 20/21

竹の移植並に伐採季(本多)/農業十九要項

/野調(樗偶子) 10/13

雑録 問答

青年団体

鉄道線路脇の郡町村名／青年会と道路掃除／

夜遊を為す者へは鉄拳／加州青年武者修行

〔読売新聞〕／盆踊り 14 〳 17

実言実語

近来の一善(門田正男)／(\*小文・良民生) 18 〳 19

一日一善必行団

小善は大善に通ず／一日一善日記(村上) 20 〳 21

雑録

浪花節／鎮守の森(『農村と娯楽』より) 22 〳 23

地方便り 梅 滋雄 23

要約 24

(\*挿画) かり入れ／ひなた／木びき 9・17・24

第三卷第一号 一九二三(大正二)年二月一五日

東京名所 大川端(\*画) 口絵

実行 1

修身斉家

疑つて見よ／諸君と語る(良民生)／入営の

諸君へ 2 〳 5

町村国家

民政の興隆(山崎)／宅地整理 6 〳 9

実業補習教育

桐樹栽培法／農家日記(鈴木徳太郎)／農業

二十一要項 10 〳 13

青年団体

養殖地へ残飯／体格旌表／豊年祝の登山／会

員持参の余興／青年会の展覧会出品物／会員

の視察談／地方秋便り(中村寅吉) 14 〳 17

実言実語

一善日記の展覧会出品(岡田豊蔵)／一善と

一悪(村上博)／良民たるの態度(村上) 18 〳 19

一日一善必行団

一日一善と日記／一善日記(久保清太郎)／

「一日一善必行団」に就て(良民生) 20 〳 21

雑録 赤毛布の論 天野 藤男 22 〳 23

要約 24

(\*挿画) 魚見小屋／裾野／はつ霜 5・13・24

第三卷第一二号 一九一三(大正二)年一月二五日

要約

24

東京名所 浅草寺 (\*画)

口絵

実行

1

修身齐家

近い他人 / 諸君と語る (良民生)

2 / 5

町村国家

民政の興隆 (山崎) / 町村に於ける席次 (武田)

6 / 9

実業補習教育

桐樹栽培法 / 農業修養日記 (皆木豊) / 農業

十九要項

10 / 13

青年団体

青年会長の伺候 / 講話の事項 / 毎日一回流汗

14 / 17

実言実語

『良民』と命名 (村上) / 自分の死場所 (松山)

18 / 19

一日一善必行団 御大典紀念と一日一善

20 / 21

雑録 落葉三片

天野 藤男

22 / 23

(\*挿画) 倉おさめ / たき火 / 糸とり場の煙突

7 · 13 · 24

第四卷第一号 一九一四(大正三)年一月二五日

謹賀新年

良民社一同 表紙裏

田舎の春 (\*画)

口絵

良民の心事

良民生 前付1 / 前付2

実行

1

修身齐家

先づ先輩訪問を勧む / 高木男爵の無帽素足主

義 (\*高木)

2 / 5

自治愛国

町村自治——民政の興隆承前 (山崎) / 露国

軍隊の禁酒 / 神社の初穂組合

6 / 11

実業補習

麦耕種法設計 / 滞京十日間 (蚯蚓生) / 産業

組合員十二戒

12 / 15

青年団体

犯罪季節と予防／青年会入会宣誓（林久五郎）

／一日一善と五分刈頭／郡青年団の実行事項

／『大阪毎日新聞』青年会便り

一日一善

一日一善の永続法／一日一善会規定／一日一

善日記（皆木豊）／「一善」の声（来山）／

火災の中より（柴山）／英国海軍大臣の一日

一善／一日一善必行団につき

雑録

朝鮮だより（仏骸）／二百里外より（蚯蚓生）

／諸君と語る（良民生）

要約

附録 青年実行百箇条

（\*挿画） はつ春／東方礼拝／おしろうぐわつ

6・9・15

第四巻第二号 一九一四（大正三）年二月一五日

横の聯絡

島を過ぐる汽車（\*画）

実行

修身齊家 土産を持参こそすれ

一日一善 東京たより（『国民新聞』より）

自治愛国

門外漢（\*徳富蘇峰）

町村の自治（山崎）／珍妙な泥棒選挙（『大阪

朝日新聞』）／家政の整理

実業補習

桐樹栽培法／到处の日本及日本人（志賀）／

地震はドウして逃げる

米国大統領と少年義勇団

滞京十日間

青年団体

花柳病と青年会／角力の巡回教師／二銭の笠

（近藤善左衛門）／杉一万本／胆だめし（日

表紙裏

口絵

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

高)

一日一善

18  
21

実業補習 稻作多収法

佐々木

12  
14

一日一善と児童(中村貫一) / 一家挙つての

地方便り

青年団体

15

一日一善(田中寛) / 三浦將軍の一日二善

22  
25

青年団体の行賞 / 会の実行事項 / 大礼服の知

16  
19

雑録

事より(新野正雄) / 青年会入退会規程

16  
19

年頭客 / 諸君と語る(良民生)

26  
27

一日一善

一日一善と青年会並小学校(\*小松原英太郎)

26  
27

要約

28

善(大霜昇)

28

第四卷第三号 一九一四(大正三)年三月一五日

保輜重) / 一善集(広瀬栄一) / 六年生の一

24  
27

横の聯絡

表紙裏

雑録 諸君と語る

良民生

24  
27

孤なる耕作(\*画)

口絵

要約

良民生

28

実行

1

修身齊家

(\*挿画) 入り海 / 台湾の農作

7  
28

豊の損じるは前途多望 / 世帯を保つ法(渡辺

平内治) / 今日一日(中村) / 巡査と檀那

2  
7

第四卷第四号 一九一四(大正三)年四月一五日

表紙裏

(井田)

2  
7

自治愛国

一日一善と本誌

表紙裏

町村の自治(山崎) / 軍隊素質の改良 / 少年

青むぎ(\*画)

口絵

団体と「良民」

8  
11

(\*奉悼)

良民社一同

前付1

実行

修身齊家

又も団子／湯殿と雪隠——世帯を保つ法承前

(渡辺平内治)

自治愛国

町村の自治(山崎)／これも横の落度／それ

は不似合のこと／祈年祭新嘗祭大意

実業補習 苗の改良

地方便り／母より熊野へ(謡曲)／滞京十日間

(蚯蚓生)

青年団体

御大典記念と青年会／青年会員皆坊主／青年

の早起会／御弁当携帯の光栄／野蛮人の青年

会入会試験

一日一善

日米問題と一日一善／高等女学生の一善

／別紙入御覧候／一日一善の声(皆不豊)／

村長さんを初め(緑波)

雑録 諸君と語る

要約

1

(\*挿画) 桑芽／夕照

14・28

第四巻第五号 一九一四(大正三)年五月一日

横の聯絡

太陽の下(\*画)

実行

修身齊家

空地と空時／肺病征伐の歌

自治愛国

町村の自治(山崎)／最も進みたる規程

実業補習

苗代の拵へ方(佐々木)／菖蒲及菟藷(素岳)

青年団体

公民教育と青年団体／行賞の別法(前田)／

回覧誌(林久五郎)／手の着け場所／青年訓

一日一善

貯蓄銀行と貯蓄善行／女学校の一善／斯

道会の「一日一善」／一日一善日記(林久五

28

良民生

26

20

27

25

14

15

12

14

6

11

2

5

表紙裏

口絵

1

2

5

6

9

10

13

14

17

郎)

雑録

青年の手の皮(皆木豊) / 諸君と語る (\*良)

民生)

要約

(\*挿画) 草笛

第四巻第六号(特別号一日一善)

一九一四(大正三)年六月一五日

特別号『一日一善』発刊に就き 良 民生 表紙裏

(\*画)

実行

一日一善に就て

鉄道と一日一善

舗石の上の芭蕉の実の皮——英国少年隊の一日

一善 ロバート・バーデンパウエル

軍隊と一日一善

お節句の粽を十本——青年会の一 日一善

18  
~  
23

処女会と一日一善——一日一善一個月分

一と晩中調べて——役場内の一日一善 南海

一日一善会規定(高知県西上山村)

一日不作一日不食

聖たり賢たるの階梯(石黒男爵より『一日一善』

の著者へ)

産業組合と一日一善

銀行にも見はる

子供の一日一善

一善といひさま蒲団を——高等女学校の一日一

善

諸君と語る

要約

良 民生 山本瀧之助

第四巻第七号

一九一四(大正三)年七月一五日

明秋と横の聯絡

早乙女の吹(\*画)

実行

修身齊家

良 民生 表紙裏

口絵

1

14  
~  
15

17

16

17

18  
~  
19

20  
~  
21

22  
~  
23

24  
~  
25

26  
~  
27

28

米搗の如し／小塗板二つ

自治愛国 町村の自治

山崎

6 〱 9

実業補習

四石は寝てゐても（苗代の拵方承前）

佐々木

10 〱 12

薩摩琵琶の石童丸

青年団体 時間励行の先発隊

14 〱 17

一日一善

一分一厘の役目／又も豊臣秀吉／一日一善と

18 〱 23

棟居電気局長の談／一日一善（二月分）

18 〱 23

（\*農事に関する智識を普通徹底せしむる最良

方法）

19

雑録

基本金よりは基本徳（中村寅喜）／田植歌／

諸君と語る（良民生）

24 〱 27

要約

良民生

28

（\*挿画）

裾野／夏来る／涼味

9・25・28

第四卷第八号 一九一四（大正三）年八月一五日

（\*小文）

良民生 表紙裏

（\*画）

口絵

実行

1

修身齐家

土俵の上より得／これも父兄の心得

2 〱 5

自治愛国

町村の自治（山崎）／納税の準備と養鶏の奨

6 〱 9

励

植林数へ歌

安藤

9

実業補習 山々三モト

佐々木

10 〱 11

青年団体

町村中堅人物の養成／徴兵検査成績表彰／腰

紐と青年指導

一日一善

12 〱 15

一日一善

『和字功過自知録』／一善日記／

文淵堂主人と「一日一善」（良民生）／今日の

一善として下さい／感化院の一日一善／銀行

内の一日一善／浦島太郎の一日一善

16

雑録

何故開戦になつたか(高石)／諸君と語る

(良民生)

24

要約

28

(\*挿画) 平野の夏／烈日／桑の葉

8・21・28

第四巻第九号 一九二四(大正三)年九月一五日

(\*小文)

秋いたる(\*画)

表紙裏

口絵

実行

1

修身斉家

時局に感じて口を閉づ／佐久間象山先生との

初対面(石黒忠慮)

2

自治愛国

町村の自治(山崎)／横の連絡／基本財産買

入内規

8

実業補習

株の教(佐々木)／不正の計量

12

青年団体

町村中堅人物の養成／青年会の三善(長島)

16

一日一善

通信部内の一日一善(良民生)／一日一善

(集配人)／女教員室より一日一善／銀行内

の一日一善／田舎の道

20

雑録

諸君と語る／日本の軍人

26

要約

良民生

28

(\*挿画) 月五題

1・7・13・19・25

第四巻第一〇号 一九二四(大正三)年一〇月一五日

(\*小文)

表紙裏

(\*画)

口絵

実行

1

修身斉家

大なる袋、充実せる一日／佐久間象山先生と

の初対面(石黒忠憲) / 十四歳以上(青年団  
起つ) / 昼食の際一読のこと

2  
7

自治愛国

町村の自治(山崎) / 一年一善

8  
11

実業補習 種子の精選

佐々木

12  
13

青年団体 町村中堅人物の養成

14  
17

一日一善

警察部内の一日一善 / (\*抄・中江藤樹) /

出征に際して一日一善 / 寺院の一日一善 / 尋

常二年生の父親 / 値をよく買ふさうです / 一

日一善録(矢部正雄) / 嗚呼一善(浪郎)

18  
26

意気軒昂の露国青年(哈爾賓特電) / 英国通信

27

(\*書籍紹介)

『農村青年夜学読本』 / 『鉄道旅行案内』

27

要約

28

第四卷第一号 一九二四(大正三)年一月一五日

実行

修身斉家

余計の事 / 佐久間象山先生との初対面(石黒

忠憲) / 一日二善(平田朋平)

2  
5

自治愛国

町村の自治(山崎) / 軍隊即国民学校

6  
9

実業補習 種子の精選

佐々木

10  
11

青年団体

町村中堅人物の養成 / 婦人の白羽の矢が怖し

い / 鎮守のまつり(長島重三郎)

12  
15

一日一善

一日一善の両刀使ひ / 中学生の一日一善 / 女

子師範の一日一善 / 福山聯隊の一日一善 / 都

会の一日一善

16  
23

雑録 花田中佐と報徳会

24  
28

要約

良民生

28

(\*挿画) 秋更く

20

横の聯絡

表紙裏

山の実(\*画)

口絵

第四卷第一二号 一九一四(大正三)年一月二五日

(\*小文) 良民生 表紙裏

枯山(\*画) 口絵

実行 1

修身齐家

飛ぶにあらざ這ふなり／佐久間象山先生との

初対面(石黒忠憲)／薄着励行(小泉)／幾

度か「日記」を言ふ 2 〵 7

自治愛国 町村の自治 山崎 8 〵 9

実業補習 肥料の配合 佐々木 10 〵 11

青年団体

「流石」を戴ける独逸(小河滋次郎)／町村中

堅人物の養成／午前五時以前起床／青年会の

掲示場(皆木)／青年服装理想軍歌／独軍少

年隊の猪突(英国大使館着電) 12 〵 17

一日一善

逋信省内の一日一善の成績／高師の一日一善

(市原)／六七歩のみ(皆木)／大正鼠小僧

の一日一善(『東京朝日新聞』雑報)／不良少年の一日一善(『海南新報』雑報)

雑録 諸君と語る 26 〵 27

要約 28

(\*插画) 祝入営／破れ案山子／杣路／大根

あらひ 6・13・17・28

第五卷第一号へ「一日一善号」

一九一五(大正四)年一月二五日

(\*画) 表紙

(\*年頭の御挨拶) 良民社一同 表紙裏

(\*画) 口絵

実行 1

先づ「一日一善」を語る 2 〵 3

一村拳つての「一日一善会」 4 〵 5

都新聞と一日一善 6 〵 7

『一日一善』の点訳書成る 良民生 8 〵 9

懸賞問題と一日一善

橘高卓一／下岡福太郎／相原英夫

10  
12

山路の梅 (\*画)

口絵

代官と一日一善

齋藤 山司

13

実行

1

郡役所内の一日一善

齋藤 山司

14  
15

修身斉家

小学生の一日一善

中村 一介

16  
17

処らず去らず／佐久間象山先生との初対面

我が児童の一日一善抄

中村 一介

17

(石黒忠憲)

2  
6

高女の一日一善

中村 一介

18  
19

自治愛国 町村の自治

山崎

7  
10

一日二善会現はる

中村 一介

20  
21

実業補習 肥料の配合

佐々木

11  
14

逓信部内一日一善成績 (二)

中村 一介

22  
23

青年団体

女子師範生の一日一善

中村 一介

24

寒中の荒行 (布施目健) / 掲示場主任表彰

青年会の一日一善奨励規定

中村 一介

25

(山崎達三郎) / 米国大統領の教書 (青年教

大正三年一日一善史

中村 一介

26  
29

育の骨髓)

15  
19

要約

良 民 生

30

一日一善

附録 一善日記用紙

良 民 生

折込

『都新聞』の第一面第一段 / 村落に於ける熟語「一日一善」(小山内東) / 不幸なる人の一日一善 (原肇) / 逓信部内の一日一善 / 子守の一日一善 / 一日一善の実感 (中村寅吉) /

(\*挿画) 眠猫

良 民 生

25

第五巻第二号 一九一五(大正四)年二月一五日

要約

28

(\*画)

表紙

表紙裏

(\*小文)

表紙裏

表紙裏

(\*小文・深尾韶)

20  
27

第五卷第三号 一九一五(大正四)年三月一日

(\*画)

表紙

(\*小文)

表紙裏

(\*画)

口絵

実行

1

修身齐家

要約

32

大に逆へ／佐久間象山先生との初対面(石黒

(\*挿画) 孝子伝より一・二

21・24

忠慮)

2・5

自治愛国 町村の自治

山崎

第五卷第四号 一九一五(大正四)年四月一日

実業補習 山口県の桐村(\*『斯民』より)

杉 唯一 10・12

(\*画)

表紙

青年団体

(\*小文)

良民生

表紙裏

体育奨励に関する実行事項／注目すべき体格

(\*画)

口絵

表彰

13・17

実行

1

一日一善

修身齐家

通信局報と一日一善(『通信講話』より・田辺

小さいだけが望ましい／トラホームの歌(横

定)／一日一善講話(『静岡新報』)／通信部

井忠国)

2・5

内一日一善成績／朝鮮と一日一善／生雲署の

自治愛国 町村の自治

山崎

6・9

実業補習

花菖蒲及燕子花／農作物害虫一覽表

10  
13

青むぎの穂 (\*画)

口絵

(\*画) 海近き辺の春／四月の太陽

14  
15

修身齐家

1

青年団体 東京少年団規約

16  
19

問題／青年訓

2  
5

一日一善

自治愛国 町村の自治

6  
8

北海道に於ける一日一善会 (小林小太郎)／

実業補習

山崎

独逸俘虜の一日一善 (『大阪毎日新聞』)／一

柳／野太久利経文「農事改良」／農作物害虫

9  
13

日一善発表会／青年会の一日一善 (森田清)

一覽表

9  
13

／都新聞の一日一善／役場内の一日一善 (長

青年団体

9  
13

谷川菊太郎)／群山日報の一日一善／訓誨

内務文部兩大臣と青年団体／光荣ある青年会

9  
13

(岡村勇二)／一日一善録 (坂東七百二)／

(『大阪毎日新聞』)／御大典と青年団体 (『山

陽新報』)／青年会の娯楽調査／各競技のレ

郵便局の一日一善／小学校教員の一日一善

コード

14  
19

要約

良 民 生

32

少年軍団の一日一善／朝鮮学童の一日一善／都

14  
19

(\*挿画) 陽日

32

会の一日一善 (『都新聞』所載)／会津の奥よ

20  
31

り一善便り (会津生)／一日一善必行団より

20  
31

／孫ならばこそ

20  
31

第五巻第五号 一九一五(大正四)年五月一五日

要約

良 民 生

32

(\*画)

表紙

表紙裏

1  
32

(\*小文)

表紙裏

(\*挿画)

春の漁村／陽春来

1  
32

第五卷第六号 一九一五(大正四)年六月一日

(小林ふくよ女) / 小善の貯蓄 / 一善たより 16 ~ 29  
 諸君より

(\*画) 表紙

(\*小文) 良民生 表紙裏

樹蔭交語六月の情 (\*画) 口絵

実行 1

修身齐家

辺を見廻はせ / 記念事業としての一日一善

(後藤静香) / 山鹿素行の一日訓 2 ~ 5

自治愛国 町村の自治 山崎 6 ~ 8

青年団体

御大典記念と青年団体 / 朝起登山会 / 青年労働隊 / 青年会員第一着 9 ~ 15

一日一善

通信部内と一日一善 / 通信探問に顕れたる公衆の声 / 正覚院の一日一善 / 島根県安濃郡各

小学校一日一善実施状況調 / 兵営内の一日一善 (久保清太郎) / 東京市中の一日一善 (『都新聞』より・KY生) / 看護婦の一日一善

見がけに一筆 (田中梅治) / 『良民』の記念事業 (田中菊治) / 愉快に感ずること一二 (足羽昇一郎)

要約 32

(\*插画) 磯小唄 / 青野をゆく汽車 / 鳴血鳥 5 · 10 · 32

第五卷第七号 一九一五(大正四)年七月一日

(\*画) 表紙

(\*小文) 良民生 表紙裏

よく働けよい休みがある (\*画) 口絵

「一日一善中央会」を作るべきか 良民生 1 ~ 4

実行 5

修身齐家 一生の単位、人生の基礎 6 ~ 7

自治愛国 町村の自治 (山崎) / 村是 / 市町村と軍艦の

底(井上友一)

8 ~ 13

青年団体

青年会と義勇団 / 青年巡回雑誌記録 (平田朋平)

／青年会年中行事

14 ~ 16

一日一善

東京市中的一日一善 (『都新聞』) / 一事必行

日誌 / 女教師一日一善会成る / 一日一善につ

きての所感 / 高女の一善雑誌帳 / 鉄道方面一

日一善成績 (福富) / 一善実行と体育 (『南信

新聞』) / 一日一善日記 (波入すぎ)

15 · 17 ~ 33

要約

良 民 生

34

(\*挿画) 洗馬

10

第五卷第八号 一九一五(大正四)年八月一五日

(\*画)

表紙

良 民 生

32

(\*小文)

表紙裏

良 民 生

31

肥を与ふ (\*画)

口絵

(\*挿画) 夏雲 / 釣魚石

22 · 32

実行

1

修身齊家

記念事業を戸内に求めよ / 自己圏外の生活

(中村寅喜) / 山鹿素行『謫居童問』より

自治愛国

2 ~ 5

町村の自治 (山崎) / 主基齋田地の小学校 /

一銭の愉快 (磯川生)

6 ~ 10

青年団体

青年会の大切なる問題 / 沼隈郡の青年会

11 ~ 15

一日一善

一日一善と知事の告辞 (若林) / 小善の貯蓄

／停車場の一日一善 / 小学校と一日一善 / 青

年会員の一日一善 (来山序助) / 郡役所内の

一日一善 (Sato) / 小なる慈善 (皆木豊) /

一善の経験 (杉本茗風) / 『女学世界』の一

日一善 (『女学世界』より・園城寺駒子) / 湯

屋鉄 (『都新聞』)

16 ~ 31

要約

良 民 生

32

第五卷第九号 一九一五(大正四)年九月十五日

川) 15・25  
 要約 32 31

(\*画)

御大典記念一日一善号発刊 良民社 表紙裏

(\*挿画) フランスの農民／支那の百姓／ベル

ギーの百姓／日本の百姓 11・15・31・32

(\*画)

口絵

実行

第五卷第一〇号 一九一五(大正四)年一〇月十五日

修身齐家 「皇国の興廃」と弁当の空殻

2・3

模範日

「模範日」設定に就いて／模範日々記

4・11

(\*画)

表紙

自治愛国 町村の自治

山崎

12・15

(\*社告)

良民社 表紙裏

青年団体

郡青年団と記念事業／御大典奉祝記念事業案

修身齐家

稔りの秋 (\*画)

1

懸賞募集答案集

16・24

一日一善

眼鏡を拾つて(『都新聞』より・助六)／日鮮

青年団体

同化と一日一善(『朝鮮公論』所載・村上秀

内務文部両大臣の青年団訓令／大隈首相青年

一)／一善日記記念保存(岩崎達一郎)／我

団談(『国民新聞』)／一木内相青年団談(『国

れに子あらば(中村寅喜)／我が村の一日一

民新聞』)／高田文相青年団談(『東京日々新

善(高坂)／『良民』八月号を読みで(前

聞』)／郡青年団の国民遊戯研究

12・17

(＊画) 一年の秋／あきのまつり

(18・19)

一日一善

一日一善

電車内の両替(『都新聞』より・神子賢吉)／

小学修身書と一日一善／一日一善雑感(市川

妹へ土産の造花(八重子)／途を訊かれて地

廉策)／静岡の一善的努力(深尾韶)／大江

図を(エム生)／風の夜の煙草の火(『都新

山麓の一日一善会より(尾上翠崎生)／一善

聞』より・佐藤生)

掲示板

20  
31

大阪中央郵便局の一日一善

山田 重郎 8  
10

要約

32

秋の一善

市川 廉策 11

通信部内の一日一善日記

12

(＊挿画)

鳴子

32

一日一善のすゝめ

榎 会 13

一日一善会発会式の印象

後藤 静香 14  
19

第五卷第二一号〈御大典記念一日一善号〉

一九一五(大正四)年一月一五日

(＊小文)

四年に渉る一日一善の比較

松山 政治 20  
21

御即位礼記念の一日一善会

22  
24

(＊画)

表紙

一日一善見聞録

増原 九市 24  
25

(＊社告)

良民社 表紙裏

名古屋電鉄より

安田 源重 26

(＊画)

口絵

鉄道方面の一日一善日記

27

奉祝

良民社

新聞に見はれたる一善の三面記事

28  
31

一日一善と私の両親

2  
3

回顧

良民生 32

一日一善と諸家

4  
5

一日一善実感

中村 寅喜

6  
7

(＊挿画)

冷たさ／落日／麗日

5・11・27

第五卷第一二号 一九二五(大正四)年二月一日

雑談(斎藤碧紫水) / (\*小文・良民生) /  
郵便局から学校へ / 静岡県小学生徒の一善  
(皆見健吉)

10  
31

(\*画)

表紙

要約

良民生

32

『模範日号』発刊に就き

良民生 表紙裏

朝霜 (\*画)

口絵

(\*插画) しもどけのみち / 朝さむ

25・32

実行

1

修身齐家 歳暮身の上を思ふ

2  
3

第六卷第一号〈模範日号〉

模範日

一九二六(大正五)年一月一日

青年会の模範日制定(岩崎達一郎) / 小学校

生徒の模範日(山本正次) / 婦人の模範日

(藤井文枝) / 子守教育者の模範日(松山政

(\*社告)  
元朝(\*画)

表紙裏

治) / 小学教育者の模範日(斎藤静夫) / 農

実行

1

家の模範日(小西治三郎)

4  
9

模範日 謂ふ所の「模範日」

2  
11

青年団体

「一日一善」に就いて

11

人生永遠の源流(志沢光郎) / 一日一善と国

陽日(\*画)

(12)

家善(吉田名川) / 一日一善実行の所感 /

模範日日記

(\*小文・次山生) / 一日一善出雲便り(母

一日一善会の「模範日」 / 「一日一善」の家

滋雄) / 消極的一善を排す(小西英夫) / 三

人の「模範日」(来山序助) / 御大典記念「模

年間の児童のミルク(小山内東) / 一日一善

範日」設定 / ソコにもコ、にも「模範日」(本

多国泰) / 清浄なる一日 (寺岡千代一) / 寝る気になれぬ (外野久之助) / 三人を抜き越す (佐藤秀五郎) / 馬鹿丁寧と評した (空外生) / 乃木大将命日と「模範日」 / 模範日十一月十三日日記 / 東北の野に於ける模範日 (松山政治) / (*小文・処女会員)	13 31
模範日雑録	

春さき (*画)	口絵
実行	1
良民 読者諸君と語る	2 3
青年団体	
青年団と団員の年齢 / 青年団体中央機関成る / 青年団運動会処務細則	4 11
一日一善	
一日一善の足跡 / 専売局内に一善起る / 工場通勤者の一善 (石井万吉) / 師範学校附属小学校の一善 / 一善会の模範日設定 / 一日一善の成果	12 29
模範日	
公共日の設定 (山下信義) / 模範日日記	29 31
要約	32

郡青年会の「模範日」実行規約 (『斯民』より) / 大阪櫛会の模範日 (『乃木式』より) / 追ては一村の「模範日」 (岩崎達一郎) / 「模範日」に対する疑問 / 村役場内の「模範日」 (有馬)	32 35
要約	良 民 生 36
附録 日常心得百五十個条	折込 36
(*挿画) 初日の出	36

(*挿画) 山家の春	32
------------	----

第六卷第二号 一九一六(大正五)年二月一五日

第六卷第三号 一九一六(大正五)年三月一五日

年頭客五十二名

表紙裏

(\*小文)

表紙裏

童幼の春 (\*画)

口絵

良民 思はぬこと

2  
3

実行

1

自治 町村の自治

山崎

4  
7

良民 読者諸君と語る

2  
3

(\*小文)

佐藤秀五郎

7

自治 町村の自治

山崎

4  
8

青年団体 青年団と「教育点呼」

8  
10

青年団体

一日一善

学生と射撃 (\*山川健次郎) / 壮丁の虎眼と

『国民新聞』の「模範青年」 / 一善雜感 (石井

花柳病

9  
15

万吉) / 松江署の一日一善 (『松陽新報』十二

一日一善

月二十六日) / 全国児童一善集 / 通信探問と

原理なき実生活 (『万朝報』二月十三日) / 朝

一日一善 / 小倉市の一善実行団 / 一善雜信

11  
24

鮮児童の一善日記 (申奉均) / 東京市小学校

模範日

25  
31

生徒の一日一善

大典記念小学校の模範日 / 女師生の模範日

32

模範日

要約

32

一善会の模範日 / 模範日たより

24  
28

要約

第六卷第五号

一九一六(大正五)年五月一五日

第六卷第四号 一九一六(大正五)年四月一五日

横の聯絡

表紙裏

新緑香 (\*画)

口絵

横の聯絡

表紙裏

実行

1

山家の春 (\*画)

口絵

良民 「青年訓」と「処女訓」

一覽妄批況翁

2  
3

実行

1

自治 町村の自治

山崎

4  
6

青年団体

総ての革新は青年より(『大阪毎日新聞』)

地域団体と職業団体／青年会の手掌試評会 7～13

一日一善

男女工五百名の一善／朝鮮学童の一善日記

(姜瓚遠)／一日一善反对／訓練と一日一善

主義／女教師の一日一善／細民部落に一日一

善／一日一善(『通信講話』より・倉外生) 14～26

模範日

記念日と模範日／「模範日」と早起／模範日

々記／小学校の模範日記の形式 27～31

要約

(＊挿画) 飽食後／徂春／桑葉青々 11・18・26

第六卷第六号 一九一六(大正五)年六月一五日

横の聯絡

表紙裏

合歡の花(＊画)

口絵

実行

1

良民 知らぬが仏

自治

町村の自治(山崎)／村民訓

青年団体 青年団の一事必行

一日一善

一善の出来る境地(深尾韶)／一善実感(Ka-

mei生)／入団に際して一善日記(外野久之

助)／看護婦の一善(西条菊美)／工場内の

一善

模範日

再三四模範日に就いて／御命日と模範日／

「模範日」に付き物

朝の間を如何に利用すべきか 回答の一

石本 幾三

要約

(＊挿画) 岩つつじ

5

32

27

24～31

11～23

2～3

4～7

8～10

第六卷第七号 一九一六(大正五)年七月一五日

第六卷第八号 一九一六(大正五)年八月一五日

(\*小文)

表紙裏

(\*小文)

良 民生

表紙裏

曜日(\*画)

口絵

(\*画)

口絵

実行

1

実行

1

良民 先哲と一善日記

2 3

良民 一善問答

2 3

自治 町村の自治

山崎

4 8

自治 町村の自治

山崎

4 5

青年団体 手掌試評記

岩崎達一郎

9 11

青年団体 農村番附其一 山と田大見立

6

一日一善

青年団体 岡山市の少年相撲調査

7 8

一日一善発会式記念会(長尾たけ子/後藤静)

一日一善

香 / 京都市内の一善(服部琢堂) / 我が一

ボーイスカウトの視察所感(藤田) / 私の町

日(高原喜三郎) / 農村学校の一善(則武沈)

の一日一善(山脇古剣) / 小学校職員の一善

静 / 女学校寄宿舎の一善

会 / 夏休みの日誌を通じて見た女学生(『大阪朝日新聞』より) / 色彩されたる一善日記

模範日

12 26

親孝行日(『万朝報』) / 模範日日記 / 座右銘

/ 電鉄の一日一善(飯島浜吉) / 紡績会社の

の中より

27 31

一善 / 専売局工場の一善(池沢彦一)

9 23

要約

良 民生

32

模範日

模範日日記(松山政治) / どうも日常と変ら

(\*插画) 海村農

16

ない(末広均) / 銚立校模範日(『山陽新報』)

24 28

早起

武経講録の「夙起夜寝」(\*吉田松陰) / 欧洲

各国の朝起奨励(『大阪毎日新聞』)

要約

良 民生

29  
31

第六卷第九号 一九一六(大正五)年九月十五日

(\*小文)

良 民生 表紙裏

蜩声(\*画)

口絵

実行

1

良民 国民性と一日一善

2  
3

自治 町村の自治

山 崎

4  
7

青年団体

青年団教育点呼規定 / 先輩より / 青年団の事

業施設

7  
13

一日一善

一善日記の感想欄 / 一善所感 / 京都市中の一

善

14  
23

模範日

内外の両全に努めよ(市川廉策) / 模範日日

記

早起

青年の朝学(『人道』より・今井兼寛) / 東京

市中の朝起会(『国民新聞』) / 小学生徒団の

朝起行列(『大阪毎日新聞』) / 朝の教訓いろ

<

要約

26  
31

(\*挿画) 稔り

32

第六卷第一〇号 一九一六(大正五)年一〇月十五日

十月便り

良 民生 表紙裏

(\*画)

口絵

実行

1

良民 決算と一日一善

2  
3

自治 町村の自治

山 崎

4  
6

青年団体

青年会の同じ年会 / 青年団の事業施設

7  
11

一日一善

女教員の本領と一日一善(後藤静香) / 一日

一善(『乃木式』) / 愛らしい一善 12 ~ 20

模範日 東北の模範日 21 ~ 27

早起

朝起が第一と存じます(『弘道』より・嘉悦孝

子) / 小学校の朝起奨励法 / 朝起の歌 28 ~ 31

要約 32

(\*挿画) 小春 30

第六卷第二一号 一九一六(大正五)年二月一日

十一月便り 良民生 表紙裏

(\*画) 口絵

実行 1

良民

脱ぎ揃えた破草鞋と一日一善 / 斯くの如く実

行せり(小林生) 2 ~ 5

自治 町村の自治 山崎 6 ~ 8

青年団体

土曜学校徹夜会の記(栄幸太郎) / 青年団の

事業施設 9 ~ 15

一日一善

一日一省主義(『慈善新報』) / 報徳社と一日

一善(梧北堂) / 神棚に一日一善 / 海兵団内

の一善(外野久之助) 16 ~ 22

模範日 模範日日記 高原喜三郎 23 ~ 26

早起

勤労と早起(\*留岡幸助) / 武士心得(力丸

東山) / 朝起の歌 27 ~ 29

要約 30

第六卷第二二号 一九一六(大正五)年二月一日

十二月便り 良民生 表紙裏

俵米(\*画) 口絵

実行 1

良民 歳暮衷情を語る 2 ~ 5

自治 町村の自治 山崎 6 ~ 8

青年団体

寺内総理大臣と青年団(『大阪毎日新聞』十一

月六日所載) / 青年団の事業施設 / 修養団主

催青年指導天幕講習会会員の一事貫行項目 /

処女の心理(井上)

一日一善

女教師の一日一善ト勤労主義(後藤静香) /

女学生の一善日記 / 専売工場一日一善実行

(『芸備日々新聞』)

模範日

立太子礼記念と模範日制定 / 師弟の模範日

(YK生)

早起

悟窓漫筆と暁六の鐘 / 二宮翁の早起

要約

良民生

(\*挿画) 寒月 / 霜

第七巻第一号 一九二七(大正六)年一月三〇日

謹賀新年

良民社一同 / 山本瀧之助

表紙裏

(\*画)

実行

良民 元朝先づ土を踏む

青年団体

青年大会の開き方 / 土曜学校徹夜会の記(栄

幸太郎)

一日一善

思はぬ辺より一善用紙 / 尋常の三年と四年 /

一日一善に対する小学児童の所感 / 金原先生

のまね(池沢彦一)

模範日

大礼記念の模範日 / 模範日誌 / 模範日日記

の回送 / 日記の様式

早起

朝起を好むは自然の妙(小山内東) / 朝起第

一の一枚刷

雑纂 年頭の記事

要約

口絵

2 / 3

1

4 / 7

8 / 17

18 / 24

22 / 29

30 / 31

32

13 / 32

25 / 27

28 / 31

32

22 / 32

28 / 31

32

22 / 32

22 / 32

22 / 32

第七卷第二号 一九一七(大正六)年二月一日

二月便り 良民生 表紙裏

鶏舎(\*画) 口絵

実行 1

良民 再び土を踏む 2~3

実業補習学校 土の学校 小林久磨雄 4~7

青年団体 横の青年団幹部講習会 8~15

一日一善

一日一善と社会善(河本猷蔵) / 我校の一日

一善会(『防長教育』より・村夫子) / 拾万善

報告祭 16~20

模範日

一日の貴重なる所以(佐藤天城) / 『戦友』

の模範日 / 模範日二十有四日(有馬莊助) /

日記用紙 22~29

早起 我が校の早起施設 土岡 寛一 30~31

要約 32

(\*挿画) 日向 / 寒天

21・32

第七卷第三号 一九一七(大正六)年三月一日

三月便り 表紙裏

草萌(\*画) 口絵

実行 1

良民 三たび土を踏む 2~3

地方改良

地方改良と農村経済(山崎) / 北海道自治の

歌 4~7

青年団体 横の青年団幹部講習会 8~18

一日一善

一日一善に対する感想(伊藤竹松) / 女囚の

一日一善(『芸備日々新聞』掲載) / 『校外に

於ける児童善行一千集』の中より 19~22

模範日 模範日廿有四日 有馬 莊助 23~25

早起 26~29

朝起に限る(山田与之助) / 愛知県の朝起会

雑纂 早起。水浴。梅干。寒香堂 30~31

要約

32

雑纂

『芸備日々新聞』／小学読本の『白雀』

25 32

(\*挿画)

ゆめひらく／桃ノ花／春ちかし 17・25・29

第七巻第四号

一九一七(大正六)年四月一五日

要約

梅干塩湯(物外生)／平瀬翁の梅湯論(『中外日報』より)

27 31  
32

四月便り

表紙裏

(\*挿画)

山路桜／うかれの客／一目千本 10・16・32

実行

1

良民 四たび土を踏む

第七巻第五号 一九一七(大正六)年五月一五日

地方改良 地方改良と農村経済

山崎

4 3  
6

青年団体 青年団の総会刷物

7 3  
10

一日一善

実行

表紙裏  
1

努力を要したる一日一善／一善日記をなすに

良民 五たび土を踏む

2 3  
3

至った動機(小林久磨雄)／一日一善袋(『精神界』)

地方改良 地方改良と農村経済

山崎

4 3  
6

神界』／米国の善行銀行(『万朝報』)／日曜

青年団体

五善／一善の一枚刷

11 3  
20

青年団に就て久保田男爵より／石川県青年団員講習会／教育点呼便り

7 3  
15

模範日

模範日二十有四日(有馬莊助)／模範日日誌

21 3  
24

(\*画)

(12)

早起

一日一善

田中中将の早起散歩／朝起会と保護者会

二月の終りに(伊藤竹松)／博多駅の一日

善／松山市の一日一善／看護婦生の一日一善  
模範日 模範日励行部 16 〳 24

早起 静岡県下の早起会（『戦友』四月号より） 29 〳 31  
要約 32

（\*挿画） 地温／春光 6・18

第七卷第六号 一九一七（大正六）年六月一五日

六月便り 表紙裏

実行 1

良民 戦前戦後の第一準備 2 〳 3

地方改良 地方改良と農村経済 山崎 4 〳 6

青年団体

石川県の青年団員講習会／青年団の座右銘 7 〳 14

一日一善

『北国新聞』より（\*山本慧生）／三月中に於ける一善感想（伊藤松竹） 15 〳 24

模範日

模範日と朔日／模範日実行の処女会表彰／模

範日日記（神原寛一）／日本の子供から白耳義の子供達へ——美しい花の日の催し（『大阪毎日新聞』） 25 〳 28

早起 早起を実行せよ（\*『戦友』五月号より・田中義一）／早起と石川理紀之助翁（岡上梁） 29 〳 31

要約 32

（\*挿画） ひるがほの花／やすらひ／休息時 1・11・27

第七卷第七号 一九一七（大正六）年七月一五日

七月便り 表紙裏

実行 1

良民 追隨を容さぬ一日一善 2 〳 3

地方改良 地方改良と農村経済 山崎 4 〳 6

青年団体 石川県の青年団員講習会 7 〳 9

一日一善

広島専売支局の一日一善成績／努力を要した

る一日一善／鐘淵紡績会社の一日一善（『新講話』）／修養の工夫（『青年雜誌』六月号より・浅井熊太郎）／一日一善座右銘（伊藤松竹）

模範日

私の模範日／帰省の日と模範日（斎藤三二三）

／中学校用の模範日日誌

早起

先哲と早起（山本道鬼の『日々の掟』）／惰力

打破と朝起会（\*田中義一）／早起漢文講義

会（『大阪毎日新聞』）／高知県の朝起会（平

野保信）／朝寝の悪習と静座

朝涼（\*詩）

要約

（\*挿画） 芋の葉／落日

第七卷第八号 一九一七（大正六）年八月一五日

八月便り

表紙裏

実行

良民 甲種青年と早起会

地方改良 地方改良と農村経済

青年団体 青年修養の団体的旅行

一日一善

広島専売支局の一日一善成績／一日一改（岩

崎隆栄）／東京少年団の一日一善競争（岡本）

／散髪床より

模範日

模範日々記／模範日より模範週へ

早起

新朝起論（『乃木式』所載）／早起談叢／山口

町早起会便り／早起に就て（鶴飼快道）／朝

（『国民新聞』より・加賀秋草生）

要約

（\*挿画） つゆくさ／夏雲／茶摘／裾野／水流

／涼風

1・10・17・23・30・32

1

2 3

4 6

7 10

都野

11 19

20 24

27 31

31 31

32 31

9 30

25 31

32

32

32

第七卷第九号 一九一七(大正六)年九月一五日

九月便り

実行

良民 電灯と早起

地方改良 地方改良と農村経済

親ごころ

青年団体

勤労本位の青年講習会(後藤静) / 旅行中心

の青年団(都野)

一日一善

広島専売支局の一日一善成績 / 専売支局女工

の一日一善日記 / 村月報中の一日一善 / 無料慈善

(関弘道) / 二宮翁と一日一善 / 先づ心より

醒めよ(伊藤竹松)

模範日

農家青年の模範日(渡辺直蔵) / 学生の模範

日(斎藤三三三)

早起

表紙裏

1

2 / 3

4 / 6

7 / 22

8 / 12

8 / 12

聞

此の秋の第一読物——後藤静香氏新著『女教員

の真相及其本領』

要約

32

30

26 / 31

(\*挿画) あきつ / 野路菊 / 残暑 / 孤独な耕作

/ 工場うら

12 / 15 / 25 / 30 / 32

第七卷第一〇号 一九一七(大正六)年一〇月一五日

十月便り

実行

良民 早起と「揭示場動員」

地方改良 地方改良と農村経済

青年団体

青年充実自答試表 / 旅行中心の青年団(都野)

一日一善 監獄行刑と意志教育

寺島静次郎

表紙裏

1

2 / 3

4 / 7

8 / 14

15 / 21

15 / 21

模範日

大根畑より／看護婦見習生の模範日

22～24

早起

早起の太鼓を敲き破る／早起会目的一覧／夏の早起／朝寝町変じて／朝草刈の奨励／小学

校早起成績（『中国新聞』所報）

25～31

要約

32

（\*挿画）

秋晴／われもこふさく／苗木／秋陽

7・26・29・32

第七卷第一号

一九一七（大正六）年二月一日

十一月便り

良民生 表紙裏

実行

良民 青年団と寒行

2～8

地方改良 地方改良と農村経済

山崎 9～12

一日一善

一善実行（『山陽新報』社説）／最も詳はしき

一善日記（大本秋村）

13～17

模範日 模範日雑談

18～19

早起

早起と百姓道（志沢光郎）／歐洲各国の昼間節約（『地方行政』）／觀瀾亭雜俎（『国民新聞』より・蘇峰生）／早起励行日記（発心生）／兵庫県の早起早寝会（『実業青年』）

生）／兵庫県の早起早寝会（『実業青年』）

20～31

要約

32

（\*挿画）

女郎花さく／豊けきみのり／手作り

の菊／小春

8・12・17・26

第七卷第二号

一九一七（大正六）年二月一日

十二月便り

良民生 表紙裏

実行

良民 歳の暮に立つて

2～3

地方改良 地方改良と農村経済

山崎 4～6

青年団体

青年団新施設／青年団の天幕旅行

一日一善

7～11

フランクリンの一日一善／会津一善便り（生江主計）／『日本少年』の一日一善／一日一善と遷善（『中国新聞』所載）

12  
～  
18

一日一善  
腹を切る人物／一善の功德（由木生）

15  
～  
17

模範日

一日一新日記（北田孤松）／女教員の模範日

19  
～  
25

模範日  
早起と一善日記（有田謙吾）／女学生の模範日

18  
～  
22

／筆のしづく（宮田栄作）

早起

早起と戦後準備／神社参拝と早起（井上皎）

27  
～  
31

科学の早起説法／修養団の早起／早寝早起の科学研究（『倫敦医事雑誌』）／名土と早起

23  
～  
31

／小学校早起会

要約

32

民報』／掲示場動員

32  
～  
31

（\*挿画） 大根干し／傾く日

29  
～  
32

（\*挿画） 春来るまへ／冬日

20  
～  
28

第八卷第一号 一九一八（大正七）年一月一五日

第八卷第二号 一九一八（大正七）年二月一五日

一月便り

良 民 生

表紙裏

実行

二月便り

表紙裏

良民 先づ処女会を言ふ

実行

1

地方改良 静岡県浜名郡篤志育英会規程

良民 青年団の統一問題

2  
～  
3

青年団体 青年実行草

地方改良 地方改良と農村経済

山 崎

4  
～  
6

青年団体 全国の青年に檄す 志沢 光郎 7 〱 16  
 一日一善 一日一善を批評す 17 〱 20  
 模範日

早起と一善と一日一新(有田謙吾) / 模範の  
 数々 21 〱 24

早起

全国早起便り / 早起と百十五歳

25 〱 31

要約

32

(\*挿画)

水仙 / 日なた / 梅さく里 / 紅梅

23・24・30・32

第八卷第三号

一九一八(大正七)年三月一五日

三月便り

表紙裏

実行

1

良民 処女会と兵營見学

地方改良 地方改良と農村経済

山崎

4 〱 7

青年団体

青年団と壮年団 / 青年農事研究会々々則

8 〱 11

一日一善

百七十名の善行くらべ(『万朝報』) / 一善論  
 の時代過ぐ(生江主計)

12 〱 14

模範日

今年の寒行 / 新聞紙上の寒行記事

15 〱 21

早起

早起と家庭教育(後藤静香) / 時間の延長法

(平山清次郎) / あいつがもうかへつてくる

から(三宅) / 競ひ起る早起会(『梧華』より)

田中菊治) / 米国大統領の朝の間仕事

22 〱 31

要約

32

(\*挿画)

草萌 / 京の春 / ねこやなぎ / 陽春来

／春日 / 土の温み

11・14・18・21・27・32

第八卷第四号

一九一八(大正七)年四月一五日

四月便り

実行

1

良民 青年団日を定めよ

2 〱 3

表紙裏

地方改良 地方改良と農村経済 山崎 4～8  
 青年団体

第八巻第五号 一九一八(大正七)年五月一五日

幹部養成／団員召集状／青年不心得大角力番

附 9～14

一日一善

五月便り 表紙裏  
 実行 1

少しお聞き下さい／一日一善の日ぐり 15～17

模範日

良民 幹部とは何ぞや 2～9  
 青年団体

六斎日と施行日／模範日日誌 18～21

幹部の養成／婦人会 10～14

早起

一日一善

日光節約法を採用せよ(『大阪毎日新聞』社説)／養生哲学の宣伝者伊東重君(『日本の

敢発表仕候(山脇伝太郎)／実行と思想／一

医界』)／朝起会一週年／『早起』著述因縁話 15～22

日一善唱歌／少年一善日記

(良民生)／朝起で改修(『中国民報』) 23～31

模範日

所謂六斎日／模範日記念貯金／私の模範日 23～24

要約 32

早起

青年団早起日記(橘高茂一)／早起と法螺 25～31

要約

要約

州より／加藤弘之の男の早起 32

(\*挿画) 播き手／陽春／双蝶／野路の花／山路の春／春の水／河辺の春 8・16・19・22・28・29・32

(\*挿画) 畠打／新緑／太陽の下／田家情景／

8・16・19・22・28・29・32

州より／加藤弘之の男の早起 25～31

要約 32

第八卷第六号 一九一八(大正七)年六月一五日

六月便り

表紙裏

実行

1

良民 青年義務役と早起会

2 3 4

地方改良 巡回の郡立実業補習学校

5 3 6

青年団体

独逸青年は如何に此戦争を体験すべきか(ホ

ツヘ) / 今晚増上寺に討入る

7 3 10 26

一日一善

一日一善及模範日便り / 姉妹三人の一善日記

／電車道徳と一日一善

11 3 18

模範日

米国の模範日 / 模範日日誌(野田多喜雄)

19 3 20

早起

二百十時間の節約(『国民新聞』より・佐伯)

／県下初めての早朝補習学校 / 青年団早起奨

励施設 / 小説の主人公の早起奨励 / 首相の早

起 / 青年団の早起日記(橘高茂一) / 早起通

信 / 旭の森の宣言(『日本及日本人』より・

本多日生)

要約

32

21 3 31

(\*挿画) 夏雲の下 / 水郷

14 28

第八卷第七号 一九一八(大正七)年七月一五日

七月便り

表紙裏

実行

1

良民 死んでゐるか生きて居るか

2 3 3

実業補習教育

郡立の巡回実業補習学校 / 実習農業実施規定

4 3 7

青年団体 石川県青年体育大会

8 3 13

一日一善

篤志婦人と一善 / 書類の中より / 一善雑話

14 3 16

模範日

健児社の模範日 / 日誌の合本中より / 模範日

日誌(斎藤三三三) / 本気の日記(井田望洋)

17 3 23

早起

『乃木式』の螺吹早起論（古江国堂『乃木式』）／早起の運動（『大阪毎日新聞』）／少年義勇団の早起／自ら配達夫を鼓舞す／一つ談判に罷出たし／『人道』雑誌の「早起」批評  
／山手線電車中より

要約

24  
31  
32

第八卷第八号 一九一八（大正七）年八月一五日

八月便り

表紙裏

実行

1

良民 我が家の健康法

2  
3

実業補習教育 郡立の巡回実業補習学校

4  
7

青年団体 石川県青年体育大会

8  
10

一日一善

一日一善

一日一善と評／一日一善の点訳

11  
15

模範日

一善日誌

節約日設定に就て（天岡直嘉）／模範日日誌

模範日 中学生の模範日

（松山政治）

16  
24

早起

早起

甲種合格と早起／壮丁記念施設と早起会／早起雑纂

24  
31

要約

32

（\*挿画） 汗

26

第八卷第九号 一九一八（大正七）年九月一五日

九月便り

表紙裏

実行

1

良民 外は騒動内は食ひ残し

2  
3

実業補習教育 東京府下の補習教育

4  
7

青年団体

8  
11

青年団体／暑いが当然（山田）

一日一善

批評入りの一善日記（大場金吾）／愛らしき

一善日誌

模範日 中学生の模範日

17  
22

早起

12  
16

雑誌『日本一』の早起奨励／女の徒歩と妊娠

〔大阪毎日新聞〕／百の朝寝青年より一の

早起大倉（中橋徳五郎）／朝鮮の早起会（〇

△生）／道教「安楽銘」の早起

要約

23  
31

32

（\*挿画） 常夏／牧童夢／彼岸花／馬浴／竹林

暮色

7・10・25・28・31

第八巻第一〇号 一九一八（大正七）年一〇月一五日

十月便り

表紙裏

実行

1

良民 フチの無い認印

2  
3

実業補習教育 東京府下の農村補習学校

4  
7

青年団体

青年運動会の細則／五尺以下と親の罪

8  
12

一日一善

行き届いた一善（岩崎ナツエ）／一日一善と

親切箱（森垣常五郎）

13  
16

模範日

私の模範日はこれ（谷口旭）／本気の日記

（井田望洋）／「禁酒日」と「無米日」

早起

17  
23

精神上の革新と早起（\*田中義一）／足かけ

三年のお早う会（『牛込公論』）／朝会規程／

早起会の色々／岡田前文相母堂と早起（大木

随処）／涼風と早起（『国民新聞』）／『女論

語』の早起

24  
31

要約

良 民 生 32

（\*挿画） 収穫／昼餉／豊収

15・31・32

第八巻第一一号 一九一八（大正七）年十一月一五日

十一月便り

表紙裏

実行

1

良民 我が家のステツキ

実業補習教育 東京府下の農村補習学校

青年団体 青年団の実行督励会

10  
13

一日一善

一善短評(岩崎あい) / 一善五項(一女教員) 14 ~ 16

模範日 「模範時」日記 金田 枯軒 17 ~ 22

早起

東京市中の早起商店 / 鐘つき 『都市及農村』

より・井上松濤) 23 ~ 31

要約 32

(\*挿画) 秋晴 / 喚朋 / 同じどち / 小憩

13 · 16 · 22 · 31

第八卷第一二号 一九一八(大正七)年二月一五日

十二月便り 良民 生 表紙裏

実行 1

良民 感冒予防と家族茶話会 岡井 丘城 2 ~ 3

実業補習教育 農業補習教育論 7 ~ 11

青年団体 青年団督励会 岩崎 まさ 12 ~ 14

一日一善 七月分の一善

模範日

「向上日」の設定(賀川生) / 雪中の模範日

(鳴海才八) / 毎朝の模範時(河野兼一) /

早起と一善と模範時

早起

早起翁の巡講 / 十八年永統の早起会 / 早起と

俗謡(久保生) / 早起日記 26 ~ 31

要約 32

(\*挿画) 静 / 日のぬくみ / 温 / 既の朝

11 · 14 · 25 · 32

第九卷第一号 一九一九(大正八)年一月一五日

一月便り 良民 年頭剣に倚る 表紙裏

実行 1

良民 実業補習教育 幹部養成の補習学校 4 ~ 7

青年団体 青年団雑話 8 ~ 9

一日一善

日記と批評／芳枝さんの一善

10  
14

吉

模範日

実業補習教育 幹部養成学校の生徒心得

2  
6

乃木大将祥月命日(松山政治)／如是我動

青年団体

7  
9

(太田枯葉)／全郡挙つての模範日

15  
22

青年団と「尊王篇」(中島氣嶺)／青年団の懸賞課題

10  
14

早起

一日一善

早起と奈翁と馬(田尻稻次郎)／早起から優

優しい日記(竹中庄)／小学教員の一善日記

15  
17

良村へ(『斯民』より・石田伝吉)／早起実行

(角山孤高)

15  
17

会／全郡教員黎明会／早起血判／寒三十日と

模範日巡回日記の内より(吉田久一)／月に

15  
17

寒詣(永治一郎)／竹法螺式寒稽古(『芸備

会』より(石田)

18  
22

日々新聞』)

模範日巡り(高橋善一郎)／「手入レナイ

18  
22

要約

山本瀧之助

23  
31

早起 朝の自然と人生(『日本及日本人』より)

18  
22

(\*挿画) 初声／初詣

29  
32

早起 朝の自然と人生(『日本及日本人』より)

18  
22

第九卷第二号 一九一九(大正八)年二月一五日

要約

石橋 忍月 23  
31

二月便り

表紙裏

(\*挿画) 迎陽／越後じし／一日の勞れ／日向

実行

1

／春風／初刷／束 1・6・9・20・21・31・32

良民

我が家の名刺／自他共に生くるの道(小林洋

第九卷第三号 一九一九(大正八)年三月一五日

(\*挿画) 牧童夢／春來青野よ／和光／春醉

11・20・24・31

三月便り 良 民生 表紙裏

実行 1

良民

第九卷第四号 一九一九(大正八)年四月一五日

四月便り 表紙裏

「懐手」を問題とする／時代の要求する人(山崎延吉)

実行 1

実業補習教育 京都府下の幹部養成学校

良民 手帖展覽と青年団

青年団体 広島県青年団の趨勢

地方改良 禁酒会と「禁酒カルタ」

一日一善

青年団体

入念の一善日記(井山金草)／青年団巡回日誌の中より

欧洲大戦と青年教育／広島県青年団の趨勢

模範日 21 24

司馬温公家訓 8 16

大正七年模範日日誌(有馬莊助)／一善雑話

今日こそは(後藤鉄四郎)／高等三年の一善

早起 21 24

模範日 17 20

暁天校庭の残雪を踏んで／小学校の早起作業

六齋日と禁酒節米／大正七年中の模範日(有馬莊助)

(中川)／早起の鐘(外山正一)

馬莊助) 21 25

雑纂 幹部講習会員より 良 民生 29 31

早起 新しい村の早起(『大阪毎日新聞』)

要約 良 民生 32

雑纂 此の唄を 久保清太郎編 27 31

良 民生 32

要約

32

(\*挿画) 春光／花の山／麦青し／草萌

12・20・31・32

第九卷第五号 一九一九(大正八)年五月一五日

五月便り

表紙裏

実行

1

良民

優良児童の後始末／「団体訓練」を読む(村

上民蔵)／『斯民』の「団体訓練」批評

2・9

実業補習教育 一人一研究老百題

10・11

青年団体

香川県優良青年の表彰旅行／広島県下青年団

の趨勢

12・17

一日一善

裁縫伝習所内の一善成績／一日一善日記(大

田幸丸)

18・23

模範日

武士と模範日／言葉の節約(氷柏生)

24・25

早起

北陸篤行者の事蹟(『信世界之徳風』より・増

田伊策)／ウイルソン大統領の早起

26・28

雑纂 此の唄を

久保清太郎編

29・31

要約

32

(\*挿画) 五月／水辺よし／雲雀

9・25・32

第九卷第六号 一九一九(大正八)年六月一五日

六月便り

良民生 表紙裏

実行

1

良民 一日一善と一日一新

地方改良 家産財団の百年計画

山下 信義

青年団体 思考賞問題

永治 一郎

10・14

一日一善

一日一新(村井知至)／学習院内の一日一善

(水野政子『さゆりの露』)／愛らしい一日一

善

15・23

模範日

倦むことのない一日(青木主計) / 報徳会便

り 24 ~ 25 · 18

早起

前独逸皇帝の早起(『大阪毎日新聞』) / 早起

美談(『報徳』) / 早起日記 / 早起の鐘(原芳

文)

26 ~ 27

雑纂 此の唄を

久保清太郎編

28 ~ 31

要約

32

(\*挿画) 海ぎし / 柳陰 / 山陰 / キヤベツと兎

14 · 22 · 31 · 32

第九卷第七号 一九一九(大正八)年七月一五日

七月便り

良民生 表紙裏

実行

1

良民 故井上知事を懐ふ

2 ~ 3

実業補習教育 補習教育の実際

良民生 4 ~ 7

青年団体

岩手県青年団体聯合会の近況 / 欧洲大戦と青

年教育

8 ~ 13

一日一善

女子師範の一日一善 / 水野前内相令嬢の一日

一善(\*水野政子) / 一善集

14 ~ 20

模範日 「向上日」を制定すべし(『向上』よ

り)

後藤 静香

20 ~ 25

早起 早起日記

26 ~ 28

雑纂 此の唄を

久保清太郎編

29 ~ 31

要約

32

(\*挿画) するれん / 馬浴 / 夜 / ダリヤ

13 · 19 · 31 · 32

第九卷第八号 一九一九(大正八)年八月一五日

八月便り

表紙裏

実行

1

良民 再び故井上知事を懐ふ

2 ~ 3

実業補習教育 補習教育の実際(\*良民生)

4 ~ 7

青年団体 有終団の組織（『帝国青年』より）

齋藤篤太郎 8 ～ 10

第九卷第九号 一九一九（大正八）年九月一五日

一日一善

学生の一善（森始堂）／水野前内相令嬢の一

九月便り

表紙裏

善（\*水野政子）／女子師範の一日一善 11 ～ 18

実行

1

模範日

良民 青年に歌なし

2 ～ 3

模範日所々に見はる／昨日は孝行日（『国民

実業補習教育 補習教育の実際（\*良民生）

4 ～ 7

新聞』／補習学校の模範日（山本彦四郎）

青年団体 有終団の組織（『帝国青年』より）

8 ～ 11

早起

常識カルタ

（\*齋藤篤太郎）

12 · 24

福山早起会（『山陽新報』）／松永朝会／淡路

一日一善

12 · 24

の名物——八十一歳の老俣夫（『大阪毎日新

班内の掲示板より／水野朝鮮総監令嬢の一善

13 ～ 20

聞』より・木下東作）／早起日記（遠稻水

（\*水野政子）／女子師範の一日一善／一日

13 ～ 20

市）

19 · 24 ～ 28

雑纂 此の唄を

久保清太郎編 29 ～ 30

一善日記（後藤鉄四郎）

13 ～ 20

理想の村より

模範日

13 ～ 20

要約

32

郡役所内の模範日／補習学校の模範日

21 ～ 24

早起

（\*挿画） 海／山の百合／夕顔／池中涼／水浴

早起奨励法／早起は一生の徳／始まった早起

25 ～ 28

／雨

7 · 14 · 26 · 28 · 31 · 32

会（『高松通信』）／弘前市伊東代議士より

25 ～ 28

雑纂 此の唄を

久保清太郎編

29 ～ 31

理想の村より

要約

31

(\*挿画) 逝夏／収穫／垂穂／初秋／こぼれも

み／秋風

7・12・20・24・28・32

第九卷第一〇号 一九一九(大正八)年一〇月一五日

十月便り

実行

表紙裏

良民 「一夜講習」を提唱す

2 3

実業補習教育 補習教育の実際 山本瀧之助

4 7

青年団体 中堅青年講習会の心得

8 10

一日一善

女子師範の一善／模範時一日一善(藤原文右

衛門)／螢の籠と倒れた傘と(渡辺柳生)／

一善四日々記(長野美徳)／来状の端より

(河口耕一)／一善此の上なし(高根武乃)

／雑木整理(木立力蔵)

11 18

模範日

模範朝(藤田生)／模範日のことよて(岩崎

賀一)／模範日だけに座つた(石垣精一)

19 21

早起

青年団朝会日記(遺芳生)／早起(太田快麓)

／朝の歌(宮田武義)

22 25

雑纂

此の唄を(久保清太郎編)／丹波より

26 31

要約

32

(\*挿画) 雁わたる／紅葉をたいて／秋さち／

いがぐり／秋の讃

7・15・28・31・32

第九卷第一一号 一九一九(大正八)年一二月一五日

十一月便り

表紙裏

実行

良民 再び「一夜講習」に就て

2 3

実業補習教育 補習教育の実際(\*山本瀧之助)

4 7

青年団体 夏の幹部講習会

8 13

一日一善

第九卷第一二号 一九一九(大正八)年二月一五日

一日一善集／水野総監令嬢の一善(\*水野政子)／鶏の爲めに(前芝憲太郎)／我を忘れて(田島源太郎)／青年雑誌の中より(永田武之)／工場内の一善(阿部きよ)

模範日  
14  
20

十二月便り  
表紙裏  
1

模範日続々起る／向上日(二瓶喜代志)／向

21  
24

良民 三たひ「一夜講習」に就いて

2  
3

上日記様式

21  
24

実業補習教育 補習教育の実際(\*山本瀧之助)

4  
7

早起

朝起会の共同作業／石川理紀之助翁と陰徳金

25  
27

青年団体 一夜講習便り／今若し一円を手にしなば

8  
15

庫

25  
27

一日一善 諸国一善集

16  
18

雑纂

此の唄を(久保清太郎編)／恐ろしき結婚の中より

28  
31

模範日 向上生活日誌／兄弟三人の模範日

19  
23

中より

28  
31

早起 我等の所謂人格改造

24  
29

要約

32

雑纂 此の唄を

久保清太郎編

30  
31

要約

32

(\*挿画) 秋純む／野の草／辻地蔵／日向

菊の節／山嶺 1・7・13・23・27・32

(\*挿画) 南の国／冬／雪積みて／薄氷／霜ど

け／除夜 7・12・21・23・29・32